

分会ニュース 2017

全日本港湾労働組合
関西地方建設支部
太平ビルサービス分会
大阪市中央区瓦町1-6-10
Tel 06-6229-3620

どうなってんねん 組合Q&A パート2

太平ビルサービス分会(以下分会と言う)の組合員の皆さん。
新組合(以下彼らと言う)が発足した、と言ってから数ヶ月経ちました。
ということで「どうなってんねん 組合Q&Aパート2」

<Q1> その後彼らはどうしていますか？

<A>

分かりません。前に「新しい組合がこれからどんな活動をするかを見なければなりません」と述べました。彼ら「組合」結成後数ヶ月たちますが、役員は誰ですか？組合作ったら結成大会位は開くでしょう。参加した人いますか？団体交渉をしたと言っていますがどんな議論でした？彼らの姿は依然として見えません。
ただ組合費は引いているそうですが。

<Q2> そんな彼らでも分会は対立する組合があつたら困らないですか？

<A>

分会は彼らを対立する存在とは考えません。
彼らのやっていた分会に反対するキャンペーンはたくさん的人が聞いたように
①分会を解散する
②分会財産は皆で分ける
の二点につきました。つまり労働組合は要らない、と言っていたのです。
ところが彼らは全港湾から処分され、分会は新執行部を選び直し健在です。
困っているのは彼らです。「要らない」と言っていた労働組合を彼らもやらざるを得ないのですから。

<Q3> 彼らはなぜそんな困ったハメになってしまったのでしょうか？

<A>

彼らいわく

「大阪は組合があつて会社の思う通りにならないので他社との競争に負ける」つまりこれも労働組合は要らない、です。

最近会社の労働条件切下げが格段に強まっています。一時金は毎年右肩下がり、挙句に一時金は不要と言い出しています。賃金の引き上げはなくしてしまいました。有給休暇も取り上げようとしています。欠員は補充しません。従業員の意見を聞く耳は無なったようです。

このような時にこそ労働組合は必要なはずなのに、彼らは「要らない」と言います。彼らの「組合要らない」は、この会社の労働条件切下げ攻撃に負けてしまった結果です。彼らは新しい組合を作りましたか？ではなく、分会を解散したかっただけなのです。

<Q 4> それでは分会は彼らにどう対処するのですか？

<A>

分会は新しい執行部を選び直し格段に強化されています。今年の冬一時金交渉は組合結成時に戻ったかのように活発な団体交渉でした。管理職も熱心に発言し理解は深まりました。一方彼らは会社の圧力に屈して分会から出て行きました。しかしその先は容易ではありません。屈したからといって会社が彼らを厚遇してくれるわけではないからです。数年足らずの社歴の彼らは会社がわかつていません。

彼らが分会には反対してくれたおかげで分会の体制は固まりました。彼らとの違いがはっきりすれば私たちに有利です。だから彼らは対立する相手ではありません。相手は太平ビルサービスです。総力で闘いましょう。

新年のスケジュール

- | | |
|----------|--|
| 1月10日(火) | 全港湾建設支部新春懇談会 大阪港湾労働会館3階 18:30から |
| 1月13日(金) | 太平ビル分会大東ブロック新年会 大東市民会館 18:00から |
| 1月20日(金) | 全港湾関西地本春闘討論会 |
| 1月20日(金) | 太平ビル分会橋本ブロック新年会 天然温泉「ゆの里」 16:30から |
| 1月27日(金) | 太平ビル分会大阪市内・東大阪ブロック新年会
牛庵長田店 18:30から |